

和歌山街道

和歌山街道の概要

和歌山街道は、紀伊半島をほぼ東西に横断し、伊勢・大和・紀伊の三国を経て松阪と和歌山を結ぶ街道である。厳密には和歌山街道とは、高見峠までの三重県側の部分を指し、紀州側では伊勢街道と言われる。紀州藩の藩道でもあったことから紀州街道、庶民の生活道として大和地方との関わりが深くなると大和街道とも呼ばれるようになった。

この街道は、伊勢参宮や熊野詣、吉野詣の巡礼道として、また、南紀や伊勢志摩地方の海産物や塩等を大和地方に運ぶ交易路としても重要な街道であった。

高見峠等の難所はあったものの、海路に比べて大幅に距離が短縮されるため、和歌山街道は単なる生活道としてだけでなく、全国交通系の一環をなす

重要なルートとなっていた。そして、五街道を模して駅制や七里役所制が紀州藩によって整えられ、御役米を免除し、使役の人馬の賃銀が支払われるなど、藩内の他の街道に比べて優遇されていた。

また、松阪市飯南町横野から六呂木町までの道筋は、伊勢本街道と重複するルートをたどる。

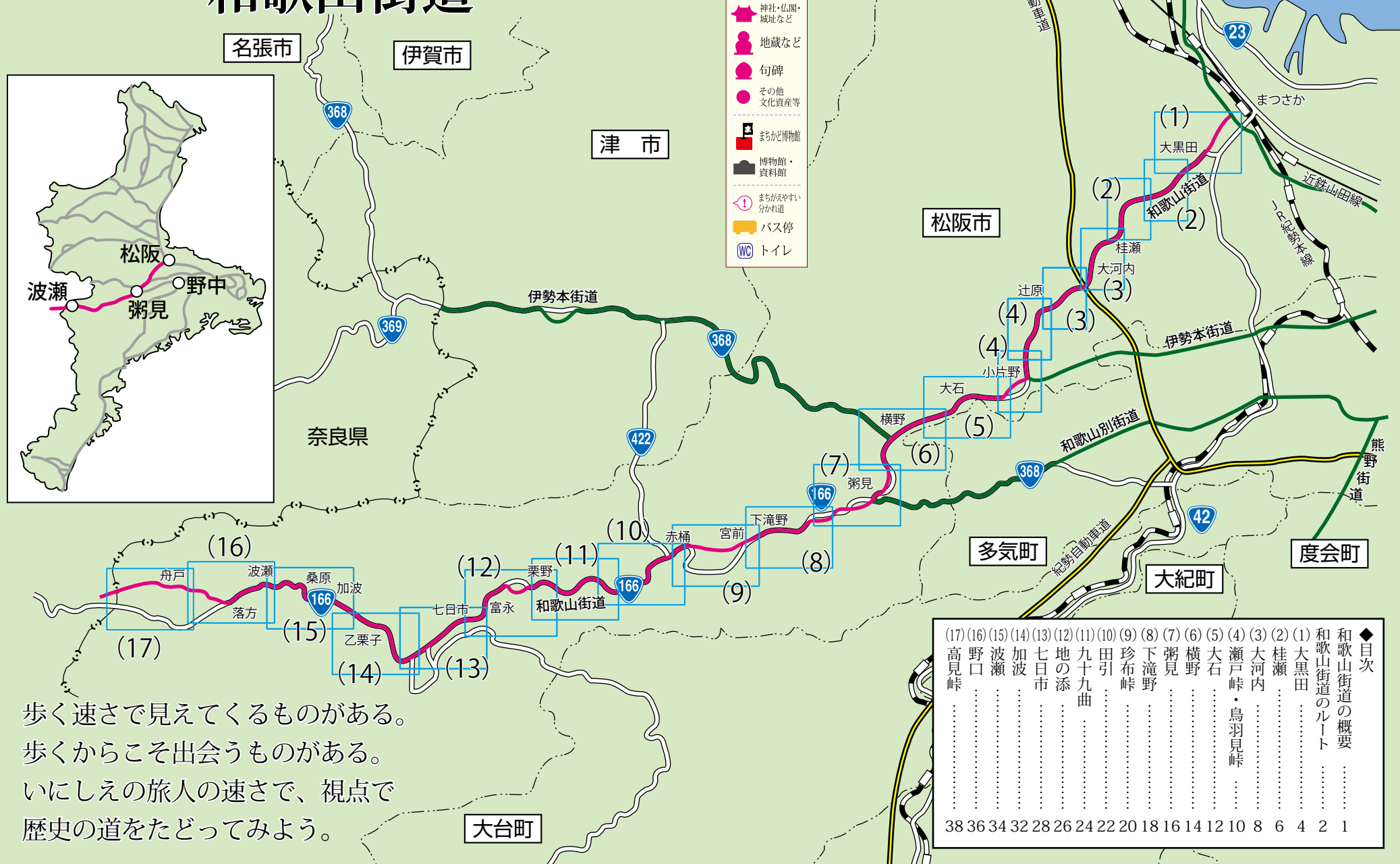


松阪と和歌山を結ぶ紀伊半島を東西に横断する要路。

和歌山街道



- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



歩く速さで見えてくるものがある。
 歩くからこそ出会うものがある。
 いにしへの旅人の速さで、視点で
 歴史の道をたどってみよう。

◆ 目次	和歌山街道の概要	1
(1)	大黒田	2
(2)	桂瀬	4
(3)	大河内	6
(4)	瀬戸峠・鳥羽見峠	8
(5)	大石	10
(6)	横野	12
(7)	粥見	14
(8)	下滝野	16
(9)	珍布峠	18
(10)	田引	20
(11)	九十九曲	22
(12)	地の添	24
(13)	七日市	26
(14)	加波	28
(15)	波瀬	32
(16)	野口	34
(17)	高見峠	38

(1)大黒田

(松阪市日野町～小黒田町)



12 常宝寺
一身田専修寺の末寺。真宗高田派。



11 道標
新町5丁目の丁字路。「左くまのみち 右和か山みち」と刻まれている。



10 来迎寺
国指定重要文化財。裏門は松阪市指定文化財。



9 松尾芭蕉句碑



15 山ノ神
祠の中に入っている。そばに松の木。



14 常夜燈
常宝寺山門を過ぎた十字路口角。「永代常夜燈 村中安全 五穀成就」と刻まれている。



13 町なみ
蒲生氏が敷設した雷光型街路の名残がある。



17 たぬみせ納豆工房



16 大黒田に行く街道

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



7 旧松坂御城番長屋 東棟 西棟
国指定重要文化財



5 原田二郎旧宅
松阪市指定文化財



8 角屋七郎兵衛等供養碑並びに松本駝堂墓
松阪市指定史跡



6 旧三重県立工業学校製図室
松阪市指定文化財



4 樹敬寺
松阪屈指の名刹。境内に本居宣長春庭墓(国指定史跡)と地藏菩薩立像(県指定文化財)がある。



2 新上屋跡
松阪市指定史跡



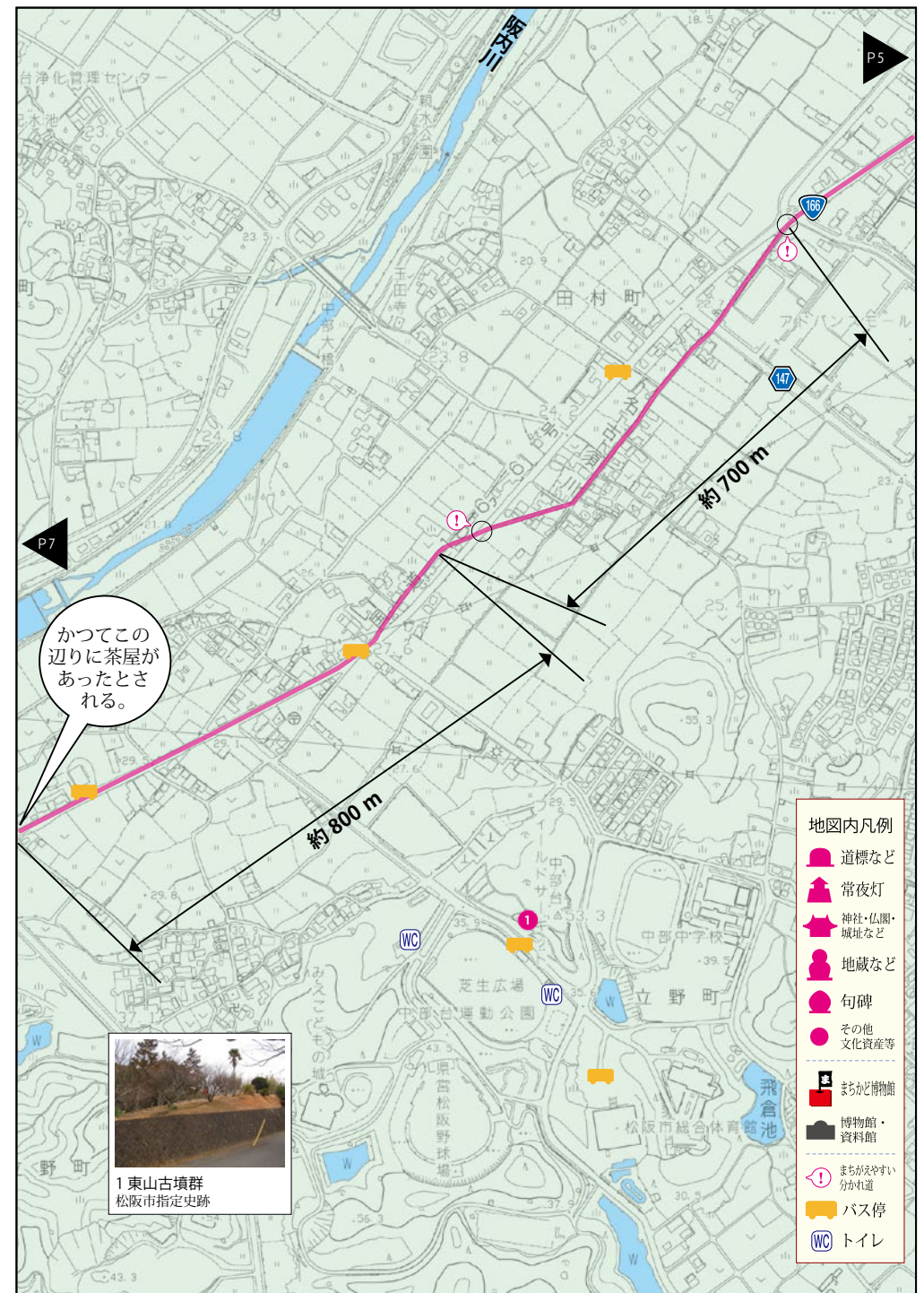
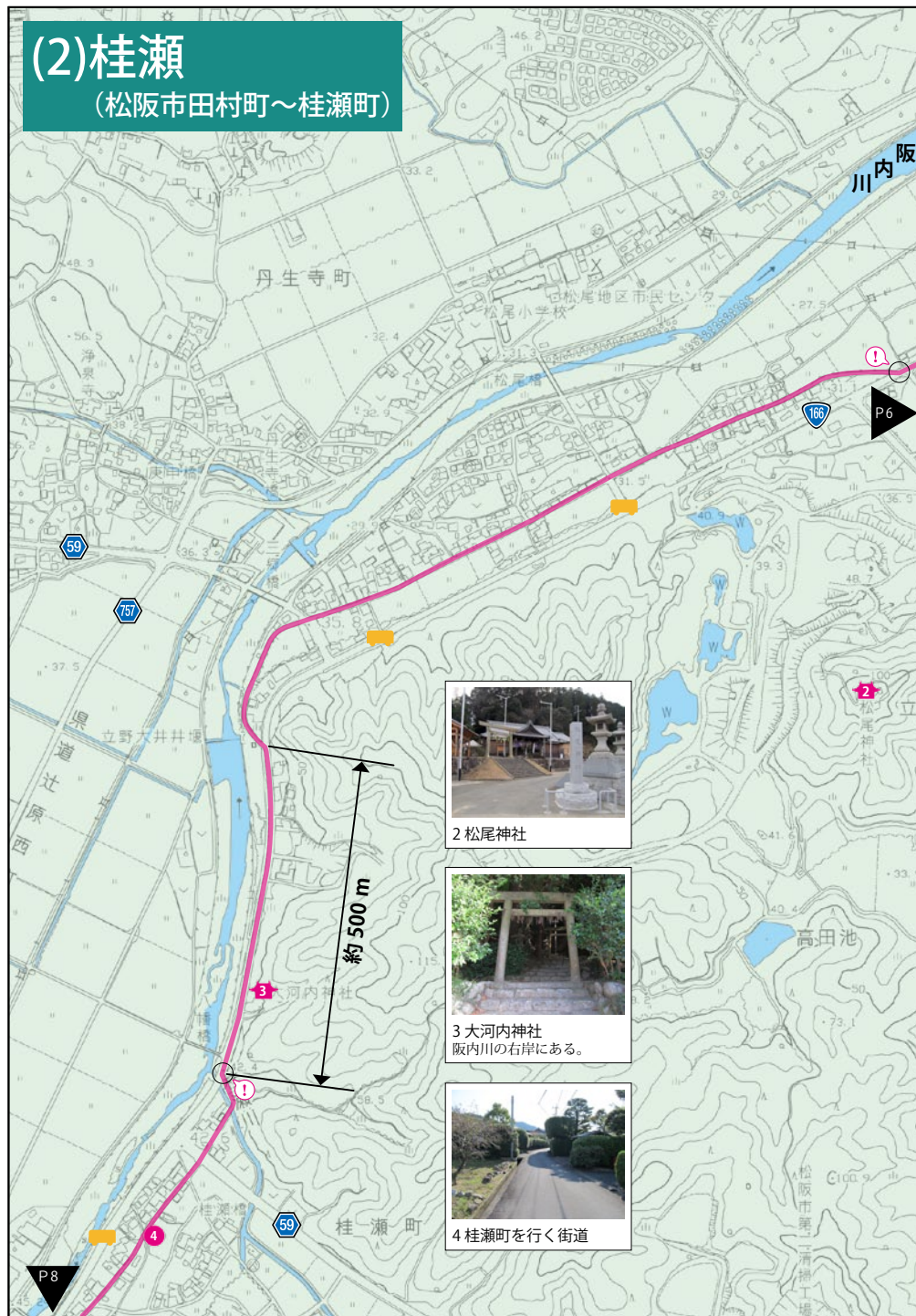
3 嶺松院跡
豪商小津家が開いた歌会場。後に本居宣長も入会。



1 道標
参宮街道と和歌山街道との分岐点。「右わかやま道」「左さんぐう道 八雲神社」と刻まれている。

約1200m

(2)桂瀬 (松阪市田村町～桂瀬町)



(3)大河内

(松阪市桂瀬町～大河内町)



7 常夜燈
薬師堂の前。



6 薬師堂
脇谷の氏神牛頭天王社の別当寺。



10 大河内に行く街道



9 阪内川沿いをいく街道



8 脇谷城址
脇谷集落の北の尾根。大河内城の出城であった。

約1300 m



1 大河内城址
永禄12年、織田信長に対抗した北畠氏が、50日ものあいだ籠城し、信長の次男・茶筌丸(信雄)を北畠の養子とすることで和解した。広阪集落西の丘陵先端部一帯は県指定史跡。



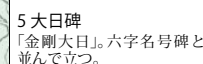
2 道標
広阪集落の南端。丹生道との分岐点左側に立つ。「左大師道」と刻まれている。



3 道標
道標の反対側。「左大師道」。



4 六字名号碑
「南無阿弥陀仏」。道標そば。



5 大日碑
「金剛大日」。六字名号碑と並んで立つ。

約800 m

約950 m

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちがど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



(5)大石

(松阪市小片野町～大石町)



8 北岡とつくり館



7 常夜燈
大石橋のたもとから不動院西の国道166号沿いに移設。「太神宮」と刻まれている。



3 炮烙岩
国指定天然記念物のムカデラン群落が生息。観音岩とも称される。



2 地藏二体
炮烙岩の下に馬頭観音と大目如來の二石仏を安置。



1 根尽坂(乞食坂)
小片野公会堂から市立南小学校にかけてのなだらかな上り坂。



9 おせん坂
下出集落入り口付近。おせん茶屋があったことから名づけられた。



13 庚申堂
上出の集落を100m程行った右側にある。



14 道標
庚申堂の正面石垣に組み込まれている。「大石宿 これより宮川へ七里 はせよりここまで十五里半」と刻まれている。



10 久保田を行く街道



11 連子格子の家なみ



12 上出を行く街道

かつてこの
辺りに旅籠が
点在していた。

約 1150 m

約 1200 m

約 400 m

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



6 巨石・怪石
不動院前の櫛田川の中にある。



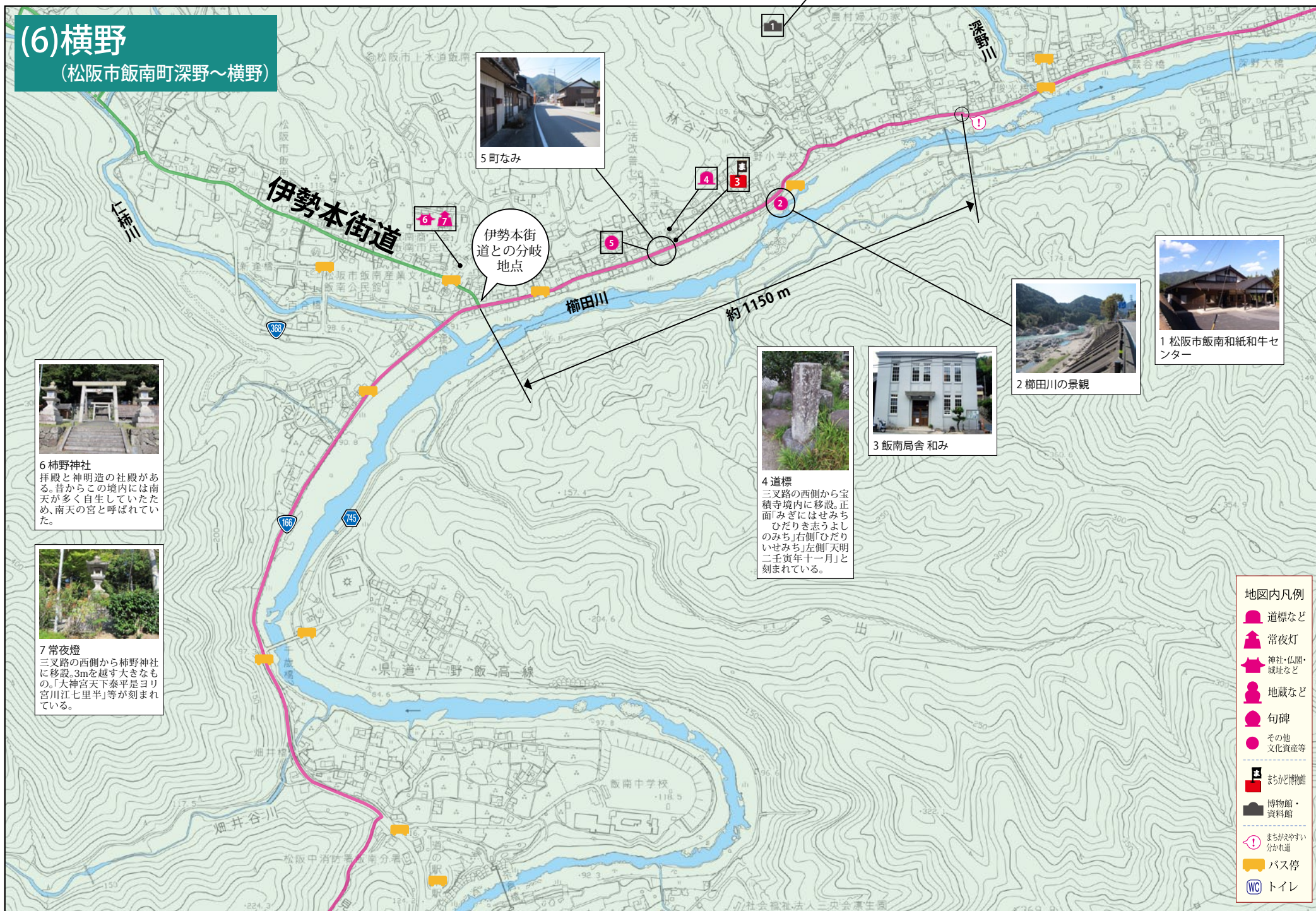
5 不動滝
高さが10mにも及ぶ。



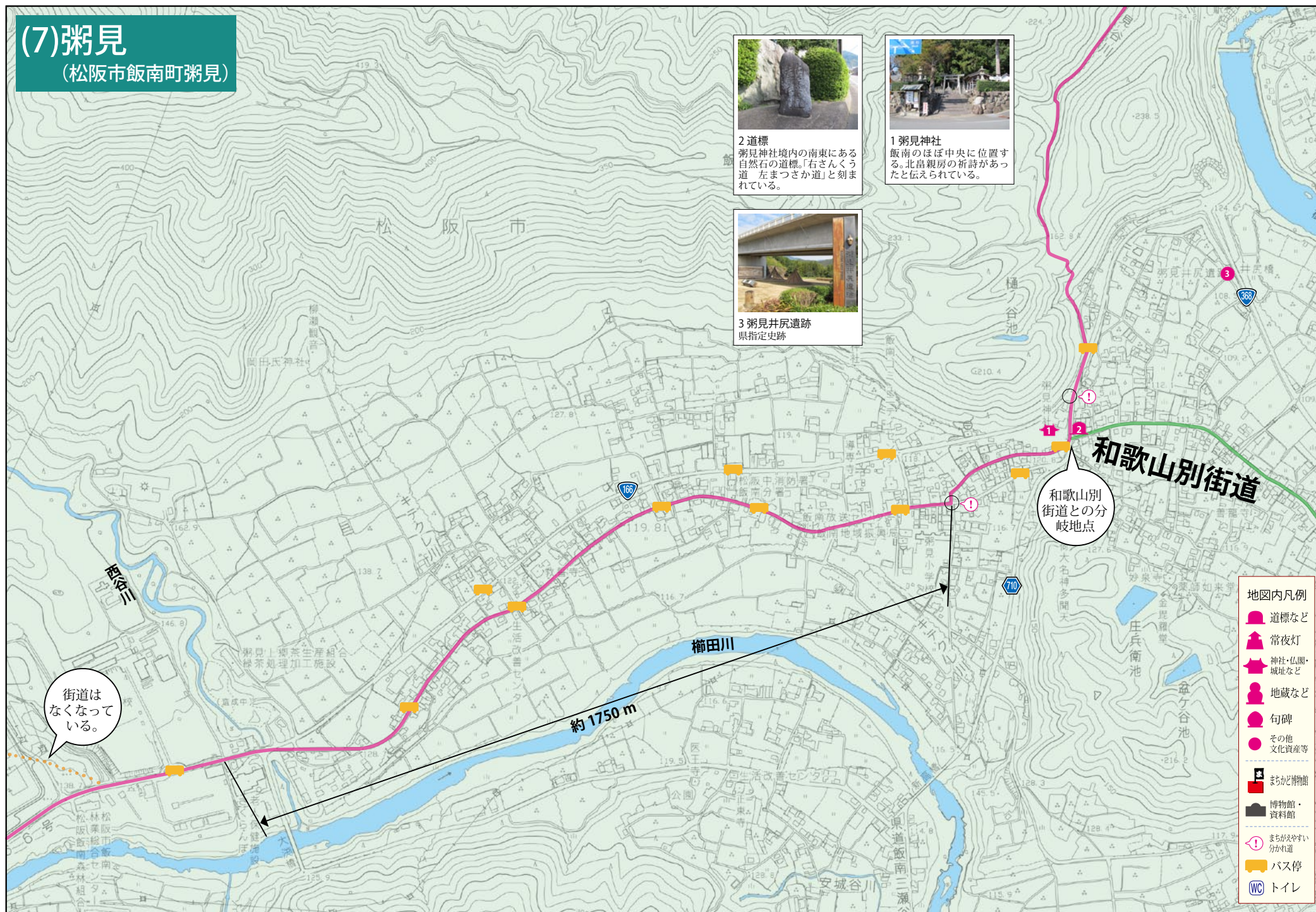
4 不動院本堂
弘法大師の創建と伝えられる。八潮の大法会と不動滝で知られる。

(6)横野

(松阪市飯南町深野～横野)



(7)粥見 (松阪市飯南町粥見)



(8)下滝野

(松阪市飯南町粥見～飯高町下滝野)



7 常夜燈
中之郷集落北側の山麓から
公民館前に移設。



6 庚申塔
中之郷集落北側の山麓から
公民館前に移設。



5 淵の本
街道のすぐ下の櫛田川。昔、
紀州侯が参勤交代の道を大
牛にふさがれ困っていると、
一人の男が片手で片づ
けてしまった。感心した紀
州侯はこの男にご褒美を
賜ったという、旧宮前村木
地小屋の怪力専故の伝説が
残る。近くの有間野櫛川
にも専故にまつわる伝説がある。



2 高束池
農業用水池。深野の地土野
呂氏により開かれた。この
池ができたことにより、こ
の地一帯の耕地は58町増加
したといわれている。

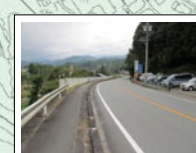


1 用水池の開拓碑
高束池のふちにある。

この
辺りに幕末から
明治にかけて
大繁盛した茶間屋
滝川屋があった
とされる。



8 細野城跡(下滝野城跡)
小高い山。今なお、地元の人
は城山と呼ぶ。



4 オオセン坂
オオセンという店があった
ことに由来。



3 サザンカの大木
松阪市指定天然記念物

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(9)珍布峠

(松阪市飯高町宮前～赤桶)



6 常夜燈
礫石のそばから移設。土地の人たちは「大神宮の常燈さん」と呼び、神宮信仰のシンボルであった。「五穀成就 伊勢両宮往来安全」等と刻まれている。



7 地藏尊
礫石のそばから移設。祠の中に安置されている。



5 珍布峠
杉・檜の木立が続く。



4 道標
高さ1.67m。「左くりたに是より れいふみち八十丁紀州ミちよし乃かうや ならはせ」と刻まれている。



3 宮前を行く街道



2 町なみ
細い道路の両側にびっしり家が立て込み、旅館もある。



1 深谷橋の欄干の名残り
紀州候の行く手をふさいだ大牛を片づけた怪力専故の伝説あり。国道166号沿い。



9 礫石の碑
礫石のある柳田川川べりの草むら。表には「俊姫の命礫石」、裏には「流れては 昔に帰る川俣川 礫石たつ水のしら浪」と刻まれている。



10 石仏二体
「寛延元年(1860)5月」と刻まれている。



11 楠の大木
水屋神社境内にある県指定天然記念物。「大楠さん」の名で親しまれている。



8 礫石
柳田川に天照大神が投げ込んだと言われる巨岩。この岩に石を投げあたれば男児、はずれた時は女児が生まれるという風変わりな風習がある。松阪市指定史跡。



12 水屋神社

この辺りに本陣があった。

江戸屋、角屋、大阪屋、岡本屋など旅籠8戸が軒を並べていた。

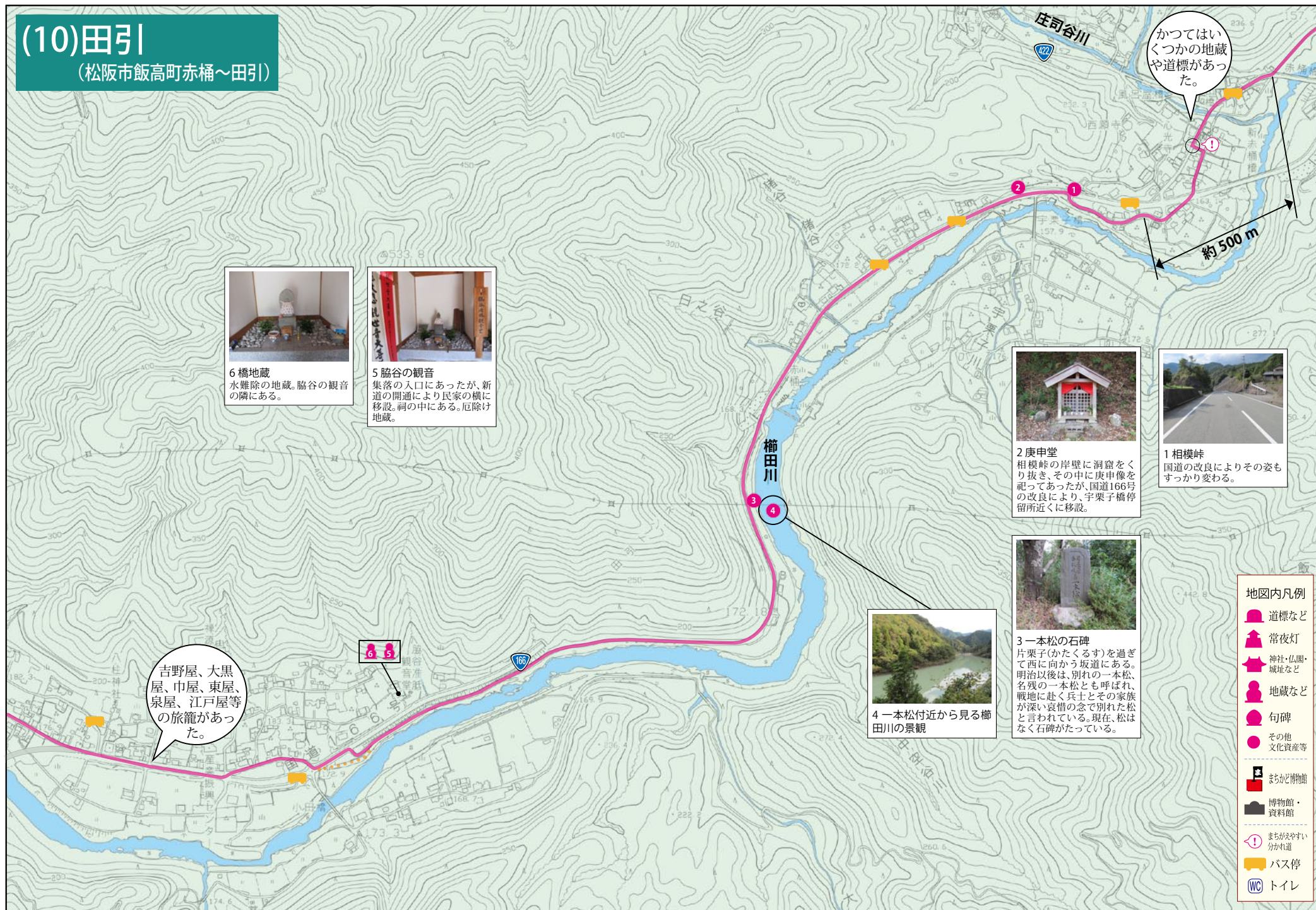
約1000 m

道の駅飯高駅

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他文化遺産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

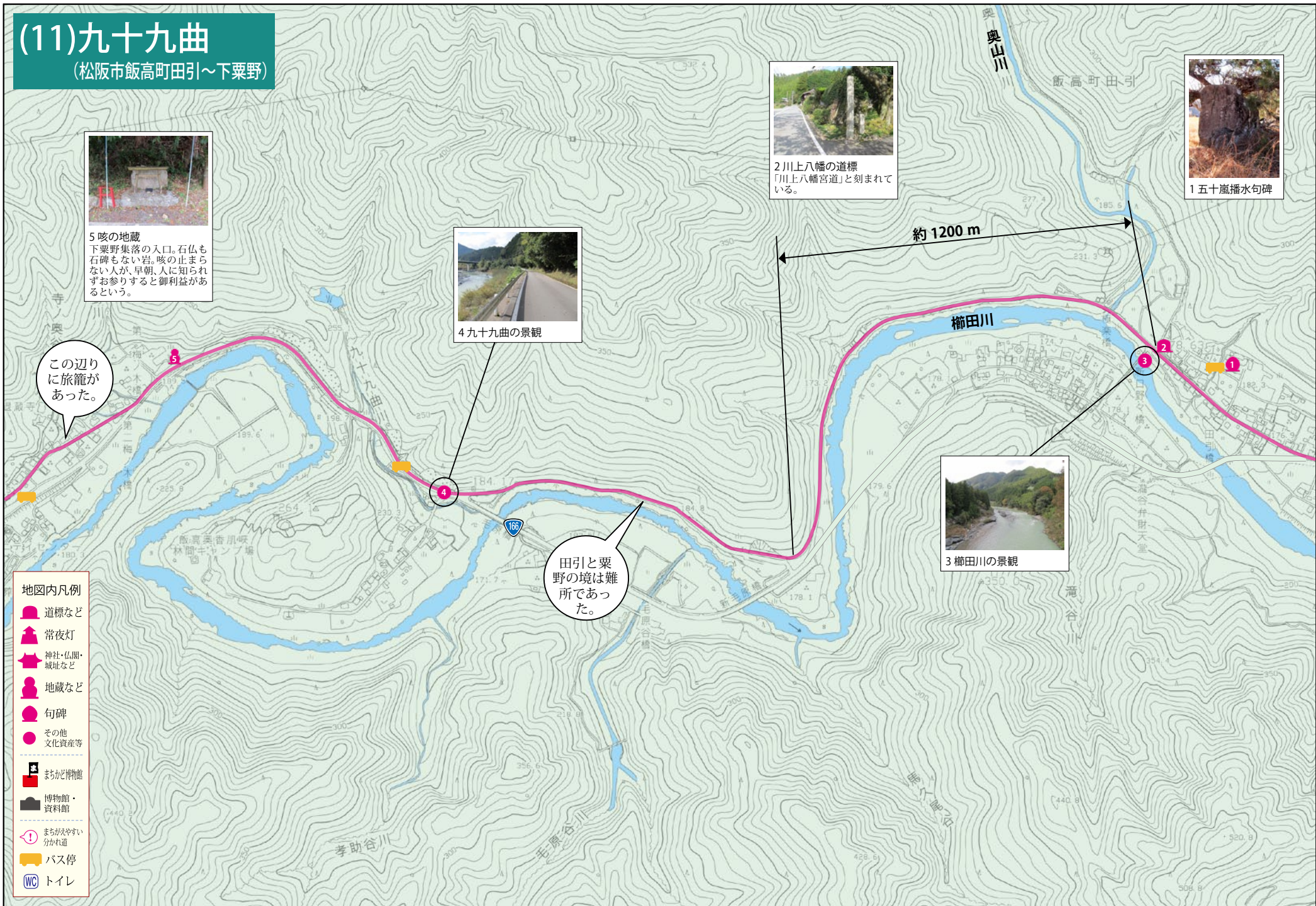
(10)田引

(松阪市飯高町赤桶～田引)



(11)九十九曲

(松阪市飯高町田引～下粟野)



(12)地の添

(松阪市飯高町下栗野～富永)



4 大谷橋
対岸の宮本に渡る橋。日本の製茶王といわれる大谷嘉兵衛の架橋したもの。



5 街道松二本



6 五輪塔二基
国道166号右脇の山林。一基は高僧が入定されたものと言われている。



7 道標
対岸の栃川。「右よしの道かうやみち」と刻まれている。

かつてはこの辺りに大和屋・十一屋などの旅籠や民家があったが、現在は一戸も存在しない。

約1300 m

約450 m



3 地の添を行く街道



1 庚申
地蔵の隣。「福本村次郎兵衛寄進」と刻まれている。直心禅寺に移設した。



2 地蔵

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(13)七日市・A

(松阪市飯高町七日市)

この部分は
31ページを
ご覧ください

5 七日市に行く街道

この辺りに
本陣が
あった。



3 町なみ
川俣郵便局過ぎから昔の町
並みが残る。



4 法華塔
街道右側。文化5年(1808)
に建立された。



1 橋地藏
分岐点。「為 橋上往来水難
除 先亡溺死菩薩」と刻ま
れている。



2 弘法井戸
街道北方の尾根筋にある
泉。水の不便な時代に貴重
な水源であったとされる。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・
城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他
文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・
資料館
- まちがえやすい
分かれ道
- バス停
- トイレ

P31 への
迂回ルート

(13)七日市・B (松阪市飯高町七日市)



1 大定峠
難所の一つであったとされている。



2 役行者
峠に祀られている。



3 常夜燈
役行者のそば。

この辺り
におれん茶
屋があっ
た。

街道はなくな
っており通行
できないため、国
道 166 号線を通
って迂回する。

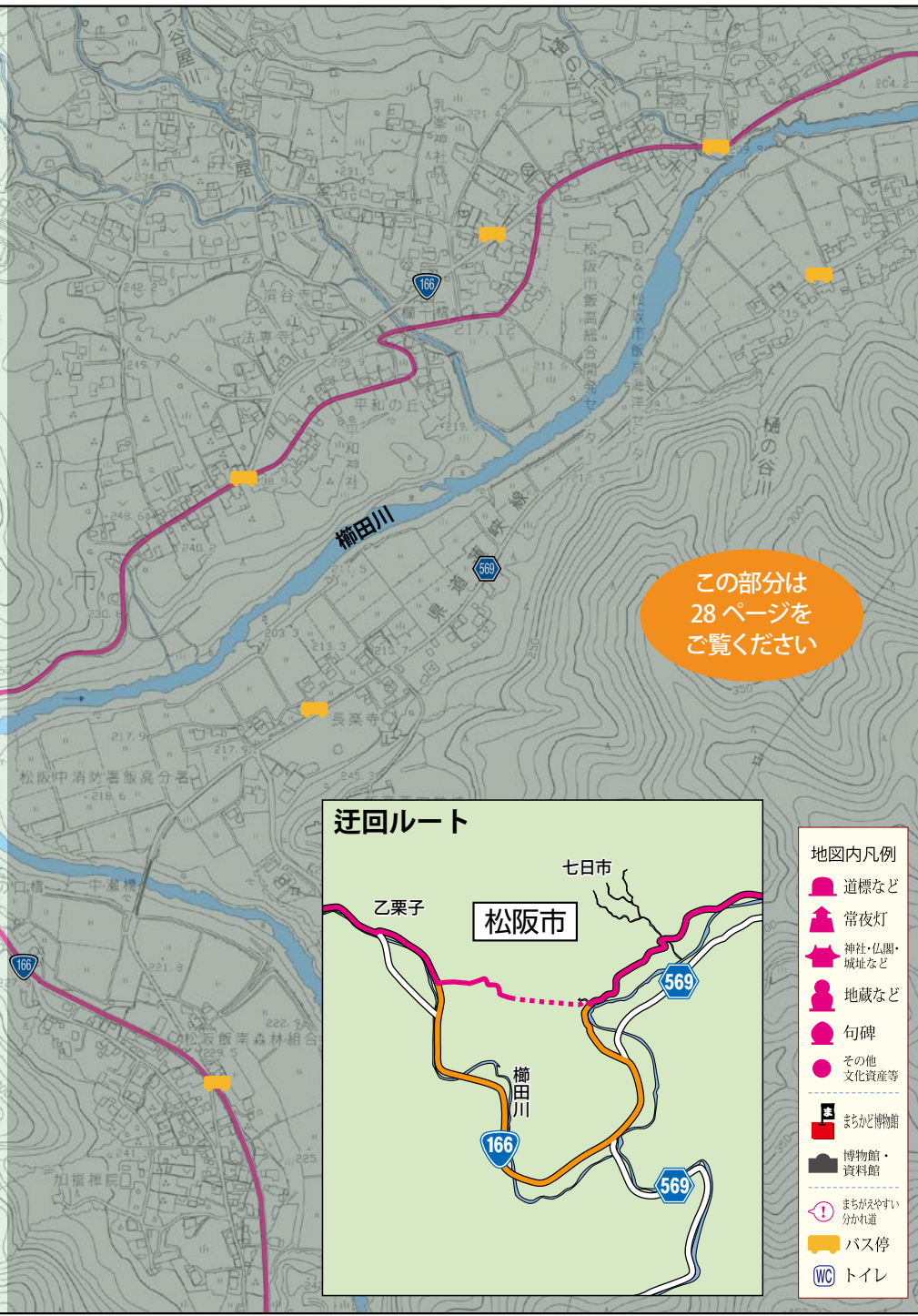
緩い傾斜
道が続く。



P28 から
の迂回ル
ート



4 地藏
おれん茶屋跡の大岩に埋め
込まれている。



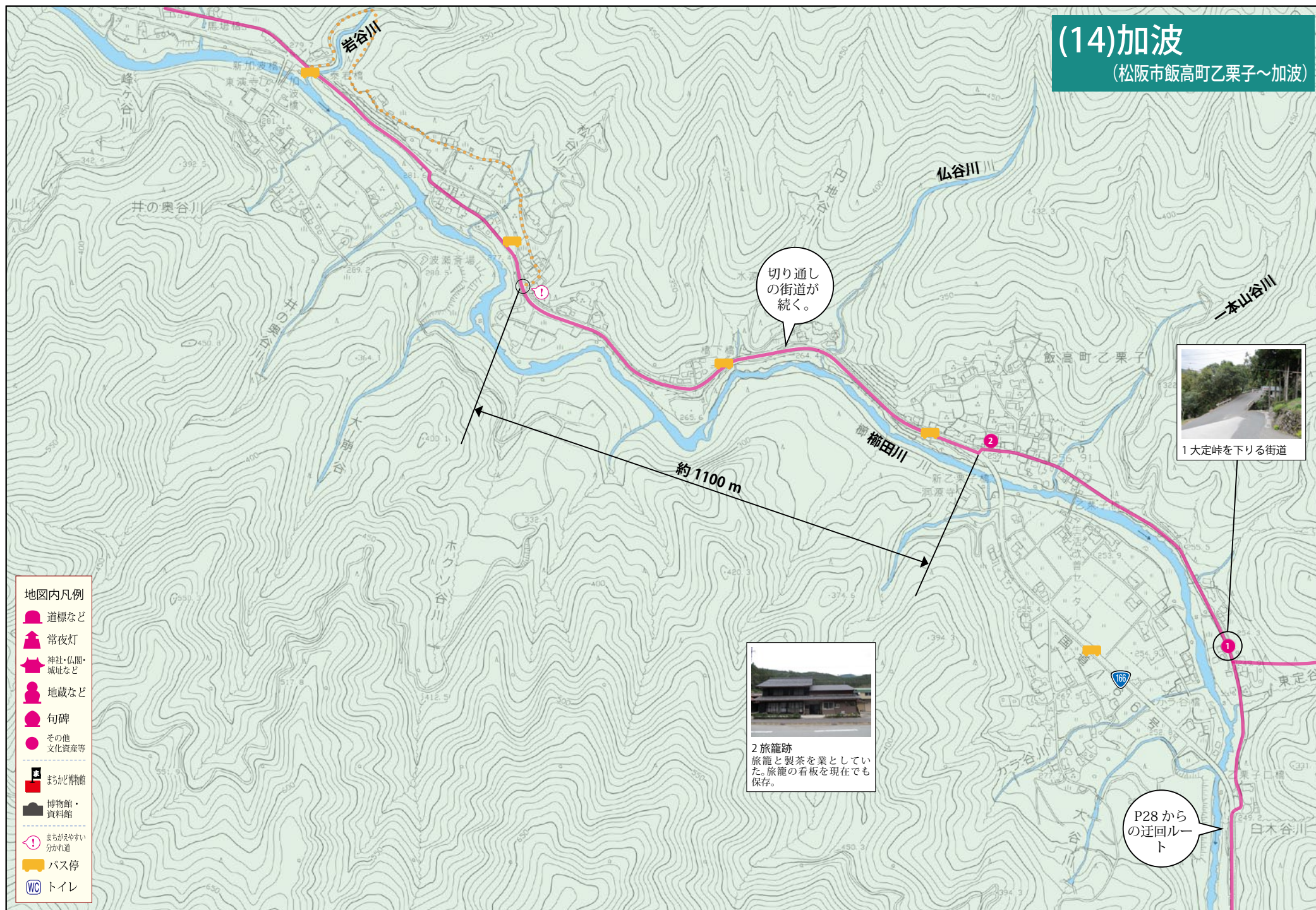
この部分は
28 ページを
ご覧ください



- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがしやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

(松阪市飯高町乙栗子～加波)

(松阪市飯高町乙栗子～加波)



(15)波瀬

(松阪市飯高町桑原～波瀬)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがしやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



5 波瀬に行く街道



4 庚申堂
泰運寺参道の入口近く。



3 庚申
道標から250m行ったところ。



2 道標
桑原口。「右すがの 左かうや道よしの」と刻まれている。

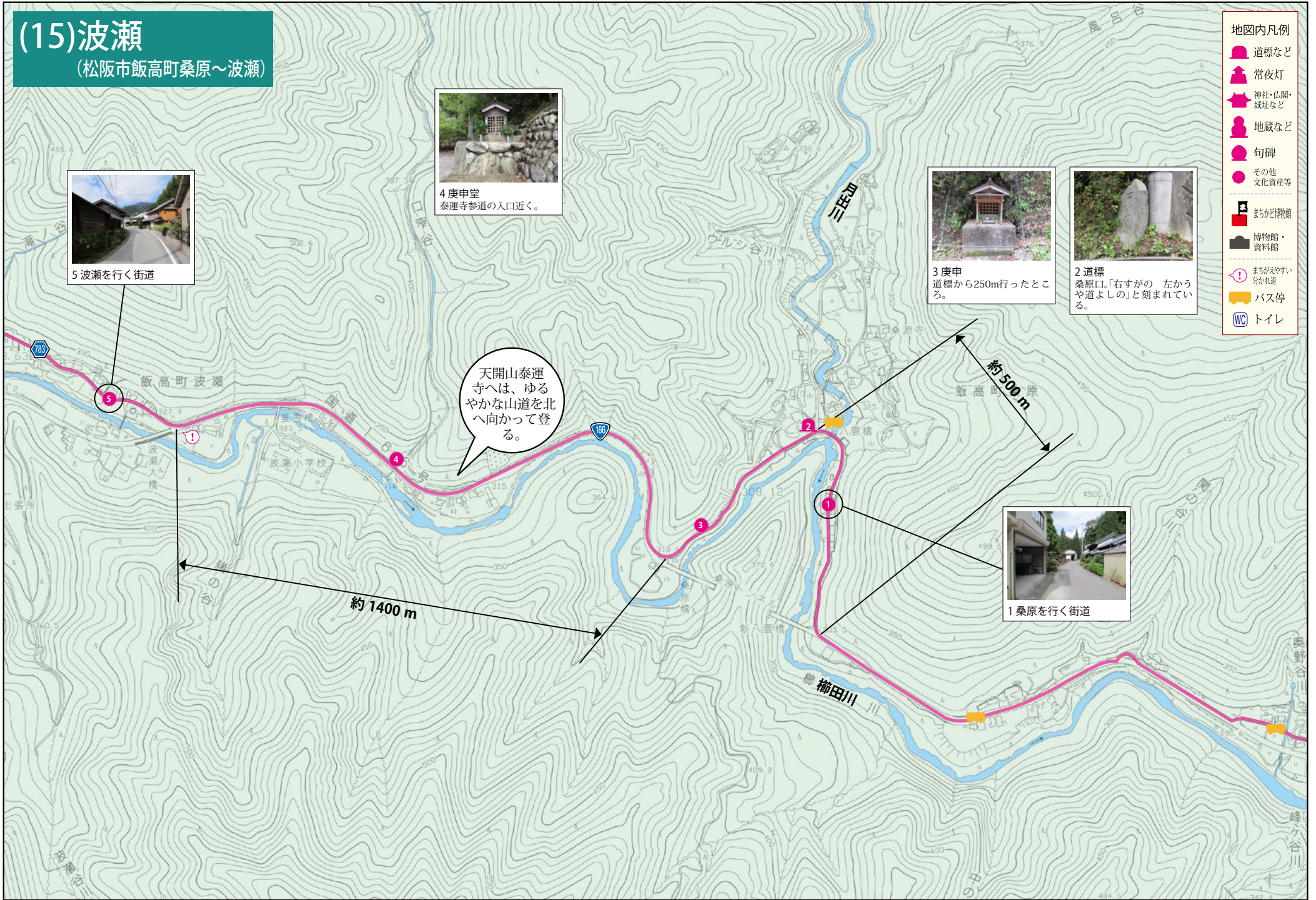


1 桑原に行く街道

天開山泰運寺へは、ゆるやかな山道を北へ向かって登る。

約 1400 m

約 500 m



(16)野口

(松阪市飯高町波瀬～落方)



11 庚申碑・地藏
松尾谷を渡る手前の分岐点。自然石の正面に「庚申青面金剛明王」と刻まれている。



10 火伏地藏
波瀬の宿場を見下ろす形で山中にある。天保6年(1835)に中村清光が世話人となって郷中安全を祈り建立した。



5 波瀬神社
菅原天神、天照皇大神、大山祇命などが祀られている。本殿裏には薬師堂と庚申祠がある。



3 連子格子の家



1 波瀬に行く街道



6 町なみ
門前町のような宿場の名残がある。



2 波瀬植物園



4 本陣跡
本陣・庄屋としての造りを伝える。表玄関横の庭には罪人を吟味する白洲があった。



9 如意輪観音



8 石塔
如意輪観音のそば。「光明真言百万遍稱誦塔」と刻まれている。



7 虹の泉



12 道標
三叉路の角。「右よしの かうや道大峯 左いせ」と刻まれている。



13 地藏
道標の上。



14 道標
道標の下。土に半分埋もれている。「右かうや 左いせ」と刻まれている。

街道は現在の市道と重なる。

この坂を勘定坂と呼ぶ。

約1000 m

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

(17)高見峠 (松阪市飯高町舟戸～県境)

